

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2005-296190(P2005-296190A)

【公開日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2005-042

【出願番号】特願2004-114560(P2004-114560)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が始動領域に進入したことを必須条件に当たり外れの抽選を行う抽選手段と、  
図柄で変動表示と確定表示を行い、前記抽選結果を表示する表示領域と、  
前記表示領域を制御して図柄を変動表示させた後に前記抽選手段による抽選結果に対応する当たり図柄又は外れ図柄を確定表示させる表示制御手段と、  
前記抽選手段による抽選結果が当たりであったことを必須条件として遊技者に有利な特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、  
有効期間中において、遊技者によって操作されると操作信号を出力し、前記表示領域の表示に対し選択又は決定操作を行うことが可能な操作受付手段と、  
を備える弾球遊技機において、  
前記表示領域を複数備え、該複数の表示領域にて同時に図柄の変動表示を可能にし、一方の表示領域にて前記操作受付手段が有効となる変動表示が行われていた場合は、他方の表示領域にて行われる変動パターンの決定において、前記操作受付手段が有効となる変動パターンを選択しないようにしたことを特徴とする弾球遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 記載の弾球遊技機において、  
前記複数の表示領域に表示されている変動のうち、いずれの表示領域に表示されている変動表示が前記操作受付手段が有効となる変動かを前記表示領域を含むいずれかの発光表示部位により報知することを特徴とする弾球遊技機。

【請求項 3】

請求項 2 記載の弾球遊技機において、  
前記報知を行う発光表示部位は前記操作受付手段であることを特徴とする弾球遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

請求項 1 記載の弾球遊技機は、遊技球が始動領域に進入したことを必須条件に当たり外

れの抽選を行う抽選手段と、図柄で変動表示と確定表示を行い、前記抽選結果を表示する表示領域と、前記表示領域を制御して図柄を変動表示させた後に前記抽選手段による抽選結果に対応する当たり図柄又は外れ図柄を確定表示させる表示制御手段と、前記抽選手段による抽選結果が当たりであったことを必須条件として遊技者に有利な特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、有効期間中において、遊技者によって操作されると操作信号を出力し、前記表示領域の表示に対し選択又は決定操作を行うことが可能な操作受付手段と、を備える弾球遊技機において、

前記表示領域を複数備え、該複数の表示領域にて同時に図柄の変動表示を可能にし、一方の表示領域にて前記操作受付手段が有効となる変動表示が行われていた場合は、他方の表示領域にて行われる変動パターンの決定において、前記操作受付手段が有効となる変動パターンを選択しないようにしたことを特徴とする弾球遊技機。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

一方の表示領域において操作受付有効期間変動パターンの取得及び変動中に他方の表示領域の変動パターンの決定においても、同じく操作受付有効期間を持つ変動パターンが選択される可能性もあるため、それを防止する制御として、請求項1の構成が望ましい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

複数の表示領域は別々の特別図柄表示装置に設けてもよい。この場合、1つの共通の表示器制御領域により、別々の表示制御基盤を介して制御される。請求項1のような構成の遊技機とする場合、現在どちらの表示領域に対して遊技ボタンが有効であるかわかりにくくなり遊技者が混乱する可能性があるため、表示領域を別々の特別図柄表示装置に納める事で、例えば、周辺のランプを使って操作受付手段が現在どちらの表示画面に対し有効であるかの報知を行う必要がある。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項2に記載の弾球遊技機は、請求項1記載の弾球遊技機において、前記複数の表示領域に表示されている変動のうち、いずれの表示領域に表示されている変動表示が前記操作受付手段が有効となる変動かを、前記表示領域を含むいずれかの発光表示部位により報知することを特徴とする弾球遊技機である。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

請求項3記載の弾球遊技機は、請求項2記載の弾球遊技機において、前記報知を行う発光表示部位は前記操作受付手段である事を特徴とする弾球遊技機である。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

請求項1記載の遊技機によれば、一つの操作受付手段を設置するだけで、複数の表示領域に対して、遊技ボタンを使用した図柄変動演出を行えるため、表示領域を増加させるにあたり操作受付手段まで増加させなくてもよく、ついでに経費の削減となり、また操作受付手段が絡む内部制御の簡略、遊技ボタンが増えることによる遊技機のデザイン性の欠如を防止することができる。

また、複数の表示領域において遊技ボタンの使用可能な期間が、間の悪いタイミングで複合することを未然に防止できるので、遊技者を混乱させることなく遊技進行する事が可能である。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

複数の表示領域を別々の特別図柄表示装置に設ける構成にすれば、複数の表示領域同士が離されることとなるので、報知を行うにあたり、その効果をより高めることができる構成となる。1つの共通の表示制御基盤を介して入力する場合は、1つの表示装置内に複数の表示領域をおさめる構成としてもよいが、その場合、以上のような効果は得られないが、一つの基板で制御できるため経費削減となる。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

請求項 2 記載の遊技機によれば、表示画面の数より少ない数の操作受付手段で複数の表示画面を操作可能な構成とする場合、現在、いずれの表示領域・表示画面に対して遊技ボタンを使用して良いか、を遊技者に知らせる報知作業を遊技機自身がの遊技状態の変化に伴って任意に行えるため、遊技者を混乱させることなく操作受付手段を使った遊技進行を行うことができる。

## 【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

請求項 3 記載の遊技機によれば、該操作受付手段が発光したときに、いずれの表示領域に対するものであるかを示す発光態様を操作受付手段そのもので行えば、より遊技者に対し明確に報知を行えるため、表示画面より少ない数の遊技ボタンで複数の表示領域に対して操作可能な構成とする請求項 1 の構成・効果をより高めることができる。